

時代を読み解く

シリーズ 23

「文民統制確保のため の慎重審議」機能 間もなくNSC（国家安全 保障会議）創設10年目を 迎える。NSCは、総理を 庁の所管にまたがるような

中心とする関係が「国
家安全保障に関する重要事
項を審議する機関である。
そして、内閣主導の下、外
務省・防衛省など複数の省
の所管にまたがるような

幅広い安全保障問題に関
する中長期的視野に立った戦
略を策定することや、緊急
事態に対処するための機能
を持つ。

実際にNSCは、首相、
内閣官房長官、外相、防衛
相からなる「4大臣会合」
を中核として、平和安全法
制制定や安保3文書改定な
どで中心的な役割を果たし
てきた。

一方、NSCにはこれに
加え、「文民統制確保のため
の慎重審議機能がある。
そして慎重審議機能保持の
ために、わざわざ4大臣会
合とは別に「9大臣会合」
を設置している。

それでは、NSCのよう
な内閣安全保障機構が「文
民統制確保のための慎重審
議」機能を持つという話
は、一体どこから出てきた
のか？

今月の講師

千々和 泰明氏

防衛研究所 戦史研究センター
安全保障政策史研究室主任研究官



1978（昭和53）年、滋賀県生まれ、福岡県育ち。広島大
学法学部卒。米ジョージ・ワシントン大学エリオット国際
関係大学院シグナル・アジア研究センター留学、大阪大学
大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了（国際公共
政策博士）。2009年防衛研究所戦史部第2戦史研究室教官、11
年内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付主査な
どを経て、13年から現職。著書に『安全保障と防衛力の戦
後史1971～2010：「基盤的防衛力構想」の時代』（千倉書房、
21年）＝第7回「猪木正道賞」受賞＝、『戦争はいかに
終結したか―二度の大戦からベトナム、イラクまで』（中公
新書、21年）＝第43回「石橋湛山賞」受賞＝など多数。

換骨奪胎された政治 的妥協の国防会議

戦後日本における内閣安
全保障機構の起源は、サン
フランシスコ講和条約発効
の翌1953年、吉田茂「自
由党」政権と対峙していた
野党「改進黨」が、「国防
会議」の創設を提唱したこ
とにある。

届かない足場として考えつ
いたのが、彼らが「国防会
議」と名づけた新組織の創
設であった。

1950年代特有の政治的
文脈における意味があっ
た。

反吉田勢力は、国防会議
に譲歩を持つ「旧軍人議員」
を通じて、服部卓四郎元陸軍
置いたのは、旧軍人の影響
力排除のためであった。し
かし、そのような経緯は次
第に忘れられていき、国防
会議の慎重審議機能は、単
なる「防衛力整備への監視」
と同一視されていく。

委員長の追加は、安全保障
会議への改組の際に実現す
る。また、「自衛隊の組織
・編成・定数の変更」や、
「最新式の主要装備の種類
・数量」は、国防会議の必
要的諮問事項とされた。

ここで期待されたのは、
国防会議がフロアタイプ
な戦略策定機能を備えるこ
とでも、事態対処機能を充
実させることでもなく、防
衛力整備に対する監視主体
の追加と監視対象の拡大と
いう、むしろ「ネガティブ
・コントロール」（消極的
な文民統制）を強化するこ
とであった。

一方、70年代終わりから
80年代初めにかけて、国防
以外の緊急事態対処への関
心が高まる。ミク25事件、
ダッカ日航機ハイジャック
事件、大韓航空機撃墜事件
などが立て続けに起こった
からである。

NSC創設10年目に見る

戦後日本の内閣安全保障機構史

改進黨が国防会議創設を
提唱した背景には、軽武装
・経済優先という「吉田路
線」への反発があった。

当初の目的を、吉田勢力が
とを望んでいた。

一方の吉田勢力側は、そ
のような可能性を断ち切る
必要があった。

「文民統制強化のための措
置については、国防会議
の議員として従来の5大臣
などが立て続けに起こった
からである。

「改進黨」は、再軍備プロセ
スを通じて自主防衛を目指す
軍人議員の参加は認めら
れなかった。

この時、国防会議創設の
意義として公式に説明され
たのが、「文民統制確保の
旧軍人グループの政治的形
勢を排除すること」であ
った。

テーマをさらに深掘り
「防研セミナーブリーフィング」
執筆者の千々和と主任研究
官が今回のテーマをさらに
深掘りして解説し、防衛省
職員と突っ込んだ議論を行
う「防研セミナーブリーフ
ィング」が12月18日（月）午
後1時半～2時半まで、市
ヶ谷のF1棟6階「国際会
議場」で開かれます。参加者
は隊員に限定されます。ご興味ある方はご参
加ください。▽問い合わせ
＝防研企画調整課03-3268
-3111（内線29177）まで。

この時、国防会議創設の
意義として公式に説明され
たのが、「文民統制確保の
旧軍人グループの政治的形
勢を排除すること」であ
った。